Map & Index

北海道東北グループの20病院一覧

北海道東北グループ　臨床研修施設一覧

頁	都道府県	基幹施設名	臨床研修	専門研修（基本領域）																		
				内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	産婦人科	整形外科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療科
13	北海道	北海道がんセンター	協力型	▲				▲		▲		▲	▲		▲	▲	▲			▲		
14		北海道医療センター	基幹型	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		▲	▲		●	▲		▲
15		函館医療センター	基幹型																			
16		旭川医療センター	基幹型	●				▲							▲							
17		帯広病院	協力型	▲			▲	▲								▲						
18	青森県	弘前総合医療センター	基幹型	▲	▲	▲		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲			▲		▲
19		八戸病院	協力施設	▲																		
20		青森病院	協力型	▲	▲	▲		▲														
21	岩手県	盛岡医療センター	協力型	▲	▲					▲												
22		花巻病院	協力型				▲															
23		岩手病院	協力型	▲																	▲	
24		釜石病院	協力施設																			
25	宮城県	仙台医療センター	基幹型	●	▲	▲	●	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●	▲		●
26		仙台西多賀病院	協力型	▲						▲												
27		宮城病院	協力型	▲																		
28	秋田県	あきた病院	ー	▲																		
29	山形県	山形病院	協力型																			
30		米沢病院	協力型																			
31	福島県	福島病院	協力型		▲																	
32		いわき病院	協力施設	▲																		

専門研修・・・●：基幹施設　※連携施設も含む　▲：連携施設

北海道がんセンター

病院長名	平賀　博明
住　　所	〒003-0804　北海道札幌市白石区菊水4条2-3-54
電話番号	011-811-9111
アクセス	地下鉄東西線「菊水駅」下車、3番出口より徒歩約3分

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
0	6	6	3	0	0	4	5	0	0	0	8	3	0	3	1	7	7

泌	リハ	血	精神	救急	病理	感内	他	乳外	形成	歯科	初期	後期	計
4	0	5	3	0	1	1	0	6	2	6	0	11	92

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
430							430

□ 1日平均患者数　外来 570件　入院 317件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 822件　救急車 288件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 2,994件　全身麻酔 2,305件　ダビンチ 有
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　39名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　2回（剖検数 1件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　臨床研修 1回 / 月平均　専門研修 1回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	−	522,682 円/月
2 年 次	−	541,332 円/月
3 年 次	−	559,668 円/月

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
・国立病院機構北海道医療センター
・国立病院機構旭川医療センター

□ 研修の領域
血液内科、消化器内科、呼吸器内科、病理診断科、放射線科 等

□ 研修の特徴
当院では各科の基礎的知識や技術に加え、がんの診断治療の基本から最先端の知識技術まで幅広く研修することができます。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△				△		△		△	△		△	△	△			△		

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

病院PR

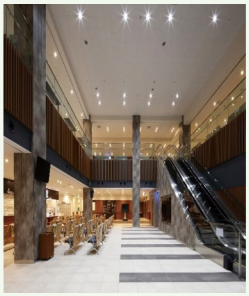
当院では、卒業後の医師が当院の理念・基本方針に則り、専門を目指す医師となるための基本的な知識と技術を習得することができます。
当院は、北海道におけるがん診療の中心病院で、平成21年4月にがん診療拠点病院の中でも各都道府県での中心的な施設である「都道府県がん診療連携拠点病院」の指定を受けるとともに、全国がんセンター協議会に加盟するなど、全科においてがん診断治療の向上と臨床研究の推進に取り組んでいます。がん治療の基本から最先端まで幅広く研修できる点が当院の最大の魅力です。

研修担当

□ 教育研修部長　渡邊 健一

当院は、国立がん研究センターを中心としたがん拠点病院等で構成するがん情報ネットワークに参加し、年間100回以上開催される様々なカンファレンスやセミナーから、がん治療等の最新情報を得ることで、職員の知識と技術の向上に努めています。
がんは我が国の死因の第１位で、厚労省もがん患者を含めた国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会の実現を目指すことを目標としています。
当院では各科の基礎的知識や技術に加え、がんの診断治療の基本から最先端の知識技術まで幅広く研修することができますので、今後医師として活躍する礎になると確信しています。

トピックス



当院は、北海道内のがん医療の中心的施設として、関係機関との連携の下に、高度で専門的な医療、臨床研究、教育研修及び情報発信の機能を備えるとともに、がん患者の高齢化により併発する循環器病、糖尿病などの「生活習慣病」に関する専門的な医療等の機能を備えた施設として運営しております。
なお、令和6年9月には、ダヴィンチの最新機種であるXiシステムを導入し、前世代のダヴィンチSiシステムに比べ機能が充実し、より複雑で難しい手術に対応することができるようになりました。泌尿器科、消化器外科、婦人科、呼吸器外科の内視鏡手術に使用しています。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課　庶務班長　笹浪 和浩
担当医師　教育研修部長　渡邊 健一
TEL　011-811-9111
FAX　011-832-0652
E-mail　100-mb10kar2@mail.hosp.go.jp

北海道医療センター

病院長名	伊東　学
住　所	〒063-0005　北海道札幌市西区山の手5条7-1-1
電話番号	011-611-8111
アクセス	JR琴似駅からJRバス「北海道医療センター前」下車、地下鉄琴似駅からJRバス「北海道医療センター前」下車

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	婦人	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
5	4	8	8	6	5	2	0	0	2	8	4	7	3	3	3	2	4

b	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	糖内	腎内	リウ	形成			計
2	1	0	5	10	3	0	2	3	2	1			103

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
410	56	116	21	40			643

□ １日平均患者数　外来 537件　入院 472件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 3,867件　救急車 2,653件　ドクターヘリ 8件
□ 年間手術件数　総数 3,456件　全身麻酔 2,543件　ダビンチ 有
□ 社 会 保 険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 無　院内保育所 有　病児保育室 有

研修体制

□ 指導医数　54名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　1回（剖検数 1件））　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　臨床研修 4回 / 月平均　専門研修 4回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	400,000 円/月	530,000 円/月
2 年 次	420,000 円/月	550,000 円/月
3 年 次	−	570,000 円/月

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴
・急性期から慢性期、プライマリ、専門・先進医療まで幅広い知識の習得が可能
・全国規模で展開する国立病院機構病院の多彩な機能を使っての研修
・専門研修に結びつく幅広いプログラムを提供

□ 研修終了後の進路　当院専攻医、大学病院　他
□ 研修医の出身大学　北海道大学、札幌医科大学　他
□ 募集人数　10名
□ 試験日程　2026年8月予定
□ 選考方法　面接

CHECK!

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		△	△		○	△		△

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

CHECK!

病院PR

1．急性期から慢性期まで全ての医療ニーズに対応するハイブリッド病院
2．成育、免疫、神経・筋などの基幹医療施設
3．がん、循環器病疾患、呼吸器疾患などの政策医療
4．災害拠点病院、結核指定医療機関
5．札幌市西区、三次救命救急医療機関
6．精神科身体合併症の診療
7．日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver2.0）
8．神経・筋疾患、成育医療、免疫異常の臨床研究
9．頻回なヒアリングにて柔軟なプログラム設定
10．全国の国立病院機構病院のネットワークを活かした様々なセミナー参加
11．勉強会、講演会、抄読会、カンファ、症例検討会等多数有り

臨床研修医の声

□ 研修医　雨宮 章人

当院の臨床研修は自由な診療科ローテ組みができ、自分の希望や将来の進路に沿った研修ができます。また、熱心に指導してくださる指導医の先生方、当直や救急科研修での主体的な対応、広く充実した個室の研修医室も魅力です。研修医は道内だけでなく道外の大学出身者もきており、様々な個性を持った仲間と研修することができます。ぜひ一度見学に来て、雰囲気を体感してください。

専攻医の声

□ 専攻医　西谷 高広

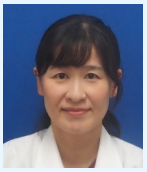
当院の臨床研修を修了後、専門研修先として内科専門研修プログラムを選択しました。
当院は「まいにちから、まんいちまで。」というスローガンをかかげ、慢性期疾患から、救命救急センターを有する急性期疾患まで対応する病院です。そのため、幅広い病態を経験することができ、内科専門医を取得する上で恵まれた環境であると思います。
カリキュラムも意向に沿った選択が可能です。ぜひ見学にいらしてください。

研修担当より

□ 臨床教育研修部長　塚本 祐己

当院は札幌西部の住宅街にあり、まわりは三角山など自然に恵まれています。専門性の高い診療科を有し、特に３次救急を核とした各専門急性期医療と、政策医療（神経難病、精神科身体合併症、小児慢性疾患、結核、筋ジストロフィー・重症心身障害）が特色になります。このように幅広い研修が可能ですし、充実した指導医が在籍していることも特徴です。さらに、専門研修としても、道内はもとより全国的な国立病院機構のネットワークを利用して、様々なキャリアパスが描けます。自然環境に恵まれた、当院での充実した臨床研修ライフを過ごしませんか？

トピックス



□ 消化器内科医長　馬場　麗

当院は多彩な診療科による幅広い研修と、全科横断的に行われるレクチャー・症例発表を行っています。救急当直では、札幌市内３次救急医療機関５施設の１つである救命救急センターにおいて、指導医のもと、臨床研修医主体の診療を目指します。２年後飛躍的に成長した自分を実感できるはずです。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　管理課厚生係長　加藤 智成
担当医師　臨床教育研修部長　塚本 祐己
TEL　011-611-8111
FAX　011-611-5820
E-mail　101-kouseikakaricho@mail.hosp.go.jp

函館医療センター

病院長名	椎谷　紀彦
住　　所	〒041-8512　北海道函館市川原町18-16
電話番号	0138-51-6281
アクセス	JR 函館駅から市電にて深堀町下車、徒歩5分

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
		1	6		1	3	6	3							1	2	1

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
					1		4						29

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
290	60						350

□ 1日平均患者数　外来 265件　入院 228件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 2,749件　救急車 1,970件　ドクターヘリ 7件
□ 年間手術件数　総数 946件　全身麻酔 658件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　13名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　2回（剖検数 2件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当直　臨床研修 3回 / 月平均　専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	420,000 円/月	500,000 円/月
2 年 次	440,000 円/月	500,000 円/月
3 年 次	−	500,000 円/月

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴　多彩な診療機能を体験し、研修医の方の希望に沿った研修を提供することができます。
全ての臨床研修医がプライマリーケアを中心に幅広く医師として必要な診断能力を身につけて人格を涵養することを目的としています。
□ 研修終了後の進路　専攻医、大学病院、その他
□ 研修医の出身大学　京都大学、北海道大学、東海大学
□ 募集人数　2名
□ 試験日程　随時
□ 選考方法　面接等

CHECK!

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代謝	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

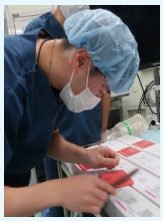
アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

病院PR

①がん医療に力を入れており、消化器科、内科、外科そして放射線科が協力して診断治療を行っています。
②循環器内科、心臓血管外科にて循環器病、心臓疾患の診断治療を行っています。
③呼吸器疾患の政策医療ネットワークの専門医療施設として治療診断、臨床研究を行っています。
④国立病院機構ネットワークにて共同で臨床研究を行っています。
⑤消化器内科では、内視鏡検査、治療やピロリ菌、炎症性腸疾患などの分野で学会をリードしている医師が担当します。

臨床研修医の声

□ 研修医　野田 翔平



当院の臨床研修の特徴は1）指導医からマンツーマン指導を受けながら、様々な症例を経験する機会に恵まれている、2）研修プログラムの自由度が高い、3）自己研鑽の機会に恵まれている、ということが挙げられます。
研修医の人数は少ないですが、その分多くの手技を経験できます。また、選択期間が多く設けられており、選択期間では当院にない診療科も国立病院機構系列の病院や北海道大学の診療科で研修することができます。

研修担当より

□ 統括診療部長　小室 一輝

ひとりひとりの研修医に対して、各自の要望を取り入れながら、マンツーマンに近い形で指導いたします。研修医時代には将来進もうとする分野を体験しておくことはもちろん有意義ですが、それ以上に各科での研修がその後の大きな宝になると思います。病院全体で研修をサポートする環境にあり、指導医にとっても研修医との関わりは大きな財産になりますので、是非色々なことに興味を持って色々なディスカッションをしながら、知識と考える力を蓄えて頂きたいと思います。

トピックス

令和６年３月からダヴィンチを導入し、呼吸器外科、消化器外科等の領域で本格稼働を開始します。
初期臨床研修、専門研修共に、症例を経験することが可能となりました。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課
担当医師　統括診療部長　小室 一輝
TEL　0138-51-6281
FAX　0138-51-6288
E-mail　102-shomuhan@mail.hosp.go.jp

旭川医療センター

病院長名	青木　裕之
住　　所	〒070-8644　北海道旭川市花咲町7-4048
電話番号	0166-51-3161
アクセス	旭川駅からバス乗車25分「花咲7丁目」下車1分

病院概要

☐ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
	6	5	2	6	4		1									1	

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
					1								26

☐ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
250		40	20				310

☐ 1日平均患者数　外来 282件　入院 210件　（2024年度実績）
☐ 年間救急受入数　患者数 1,156件　救急車 802件　ドクターヘリ 0件
☐ 年間手術件数　総数 279件　全身麻酔 197件　ダビンチ 無
☐ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
☐ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

☐ 指導医数　12名　2026年1月1日現在
☐ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　1回（剖検数 1件）　（2024年度）
☐ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
☐ 当　直　臨床研修 2回 / 月平均　専門研修 2回 / 月平均
☐ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	445,100 円/月	505,100 円/月
2 年 次	475,100 円/月	535,100 円/月
3 年 次	−	595,100 円/月

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

☐ 研修の特徴　病床数は310床と中規模であり、常勤医も26名と多くはないですが、その分研修医と指導医、上級医、院長との間の断絶はなく、非常に風通しのよい病院であり、研修に十分専念できます。
☐ 研修終了後の進路　当院専門研修、旭川医科大学　等
☐ 研修医の出身大学　旭川医科大学、札幌医科大学、高知大学　等
☐ 募集人数　3名
☐ 試験日程　随時（マッチング参加）
☐ 選考方法　面接

CHECK!

専門研修

☐ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
○				△							△							

☐ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
△		△			○			△	△					△

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病
△								

病院PR

当院は、全国機構病院140施設のうちの日本最北に位置する病院です。道北・道東地域を中心に多くの患者が当院を訪れます。また、当院は旭川市東北部の市勢伸展が著しい地域に位置し、良好なアクセスを生かして地域での中心的な医療機関となっています。

さらに、呼吸器疾患、脳神経内科疾患、消化器疾患、循環器疾患、代謝リウマチ疾患を中心に、地域医療および道北地区での専門医療を担っています。急性期医療をはじめとして、数ヶ月から数年にわたる慢性期医療まで幅広くカバーしており、地域における急性期医療の中核的医療施設をめざす、活気あふれた病院です。

臨床研修医の声

☐ 研修医　西海 大樹

旭川医療センターでは、脳神経内科・呼吸器内科・消化器内科の3領域を中心に、比較的コモンな症例を数多く経験することができます。研修医は精査・加療を目的とした症例を主に担当するため、鑑別疾患を幅広く考える力や、検査結果を踏まえたディスカッション能力など、医師として欠かせない“考える力”を着実に身につけられる点が大きな特徴です。また、院内でカバーしきれない分野については連携施設での院外研修が可能で、個々のニーズに合わせた柔軟な研修スケジュールを組むことができます。スタッフ一同、皆さまにお会いできる日を楽しみにしております。

研修担当より

☐ 臨床教育研修部長　黒田 健司

当院では、“Postgraduate medical education of the resident, by the resident, for the resident”を実践するため、多くの指導医により構築された研修体制の中で、研修医は主治医として診断から治療まで一連の研修を自ら考え実践しています。さらに、当院の特徴である多彩な症例や豊富な検査を通して、経験できる研修・学べる研修を目指して、多くの手技と知識を経験してもらうよう取り組んでいます。

トピックス

2020年9月に外来管理診療棟が完成しました。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　庶務班長
担当医師　臨床教育研修部長　黒田 健司
TEL　0166-51-3161
FAX　0166-53-9184
E-mail　103-syomu-h@mail.hosp.go.jp

帯広病院

病院長名	本間　裕士
住　　所	〒080-8518　北海道帯広市西18条北2-16
電話番号	0155-33-3155
アクセス	拓殖バス「国立帯広病院行き」乗車「国立帯広病院前」下車徒歩2分

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1			4			1		3									2

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
			7										18

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
94	120			100			314

□ １日平均患者数　外来 193件　入院 231件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 615件　救急車 445件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 271件　全身麻酔 182件　ダビンチ 無
□ 社 会 保 険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　4名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　　直　臨床研修 4回 / 月平均　専門研修 4回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	−	373,000 円/月
2 年 次	363,000 円/月	384,000 円/月
3 年 次	−	395,000 円/月

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名

国立病院機構北海道医療センター、国立病院機構旭川医療センター、
北海道大学病院、旭川医科大学病院、北海道社会事業協会帯広病院、
北斗病院、北海道医療団帯広第一病院

□ 研修の領域

精神科、循環器内科、心臓血管外科

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△			△	△								△						

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項

・基幹型病院のプログラムに沿って、循環器内科・心臓血管外科を含む胸部外科、精神科の分野において、積極的に医師の受入れを行っています。
・研修指導は各診療科指導医・専門医が対応します。

病院ＰＲ

■当院の特色

1）循環器疾患、精神疾患に関する専門医療
2）重症心身障害児（者）に対する専門医療
3）救急告示病院
4）開心術、ステントグラフト治療など高度医療の提供
5）医師のほか医療従事者の実習施設

■専門医資格関連情報

・日本外科学会外科専門医制度修練施設
・３学会構成心臓血管外科専門医認定医機構認定基幹施設
・日本ステントグラフト実施基準管理委員会協力実施施設（胸部・腹部）
・日本循環器学会循環器専門医研修施設
・日本不整脈学会・日本心電図学会認定不整脈専門医研修施設
・日本がん治療認定医機構認定研修施設

研修担当

□ 院長　本間 裕士

当院は十勝平野の中央、帯広市に位置し、医療圏対象人口は35万人余りとなっております。循環器内科・同外科領域、精神科の専門的医療と重症心身障害児（者）医療を展開しております。また、令和７年７月より休診していた呼吸器外科を再開し、肺癌を含め外科的治療を要する呼吸器疾患全般の診断及び手術等の治療を行っております。
地方都市であっても大都市と同じ医療レベルを維持すべく、学会等にも積極的に参加し、日々研鑽しています。研修医の皆さんの要望に充分に応えられるようスタッフ一同指導していきたいと思っておりますので、ぜひ一度、帯広の地に！！

トピックス

2011年に道東自動車道が全通し、札幌へのアクセスが向上しました。(約２時間半)
また、東京へのアクセスも「とかち帯広空港」から「羽田空港」まで１日10便が就航しています。
帯広市は北海道屈指の広さを誇る十勝平野にありますが、四季を通じて晴天の日が多く、北海道では最も日照時間が長く、全国でも有数の多日照地域です。冬季も降雪量は少なく、医療施設の立地条件として有利な自然環境です。
観光資源としては欧州を思わせる広大な景観、十勝川温泉、ばんえい競馬、名物豚丼やスイーツなどがあり、魅力溢れる帯広へ是非研修に来ていただきたいと思います。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部管理課　庶務班長
担当医師　院長　本間 裕士
ＴＥＬ　0155-33-3155
ＦＡＸ　0155-33-3397
E-mail　104-shomuhanchou@mail.hosp.go.jp

弘前総合医療センター

病院長名	江面　正幸
住　　所	〒036-8545　青森県弘前市大字富野町1
電話番号	0172-32-4311
アクセス	JP 奥羽本線弘前駅下車

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

呼内	消内	循内	脳内	糖内	呼外	消外	乳腺	形成	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
4	10	3	1	2	1	6	2	1	2	8	7	7	1	2	2	3	3

泌	歯口	救急	精神	病理	検査	他							計
3	1	1		2	1								73

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
442							442

□ 1日平均患者数　外来 561件　入院 324件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 8,895件　救急車 4,113件　ドクターヘリ 1件
□ 年間手術件数　総数 2,832件　全身麻酔 1,460件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 無　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　48名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　2回（剖検数 1件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　臨床研修 4回 / 月平均　専門研修 −
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	518,200 円/月	−
2 年 次	518,200 円/月	−
3 年 次	−	−

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴　地方型２次医療圏の中核病院として、多種多様な症例を経験できます。
自己研鑽や学術研究への時間的経済的支援を行っています。
指導医と共に、初期診療から専門的後治療まで深く学ぶことができます。

□ 研修終了後の進路　弘前大学医学部附属病院他医療機関
□ 研修医の出身大学　弘前大学
□ 募集人数　13名
□ 試験日程　2026年8月末予定
□ 選考方法　面接方式

CHECK!

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△	△	△		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			△		△

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

病院PR

地方型2次医療圏の中核病院として、弘前市第二次救急輪番や津軽地域小児救急医療体制二次輪番を担当しています。また、母子医療センターと NICU（新生児特定集中治療室）を併設し、ユニセフ・WHO から Baby Friendly Hospital として認定されています。
研修医は救急症例のファーストタッチから担当し、診察、診断、治療まで指導医と共に学びます。さらに、院内カンファランス、研修会、学会発表、医学雑誌投稿など、研鑽や学術研究への時間的経済的支援を行っています。

臨床研修医の声

□ 研修医　中村 友紀乃

当院は診療科目が充実しており、経験豊富な指導医からご指導をいただけるところが魅力だと思います。日常診療のなかで多岐にわたる症例を経験することができ、臨床的な思考力を深めながら、指導熱心な指導医より診療に関して直接フィードバックをいただくことができるため充実した研修をさせていただいています。また新病院開設以降、救急車搬送台数、救急外来患者数は倍近くに増加しており、実践的な現場のなかで臨床診断能力を確実に身につけることができると思います。同期や先輩が多く、お互いに疑問や学んだことを共有しながら高めあえる環境で是非研修生活を一緒に送りましょう。

研修担当より

□ 臨床研究部長　嶋村 則人

臨床研修の基本理念に準拠し、基本的知識と技術を習得するとともに、医療人としての基本姿勢・態度を学び、医師としての人格を涵養します。特に高齢者の多い地方型二次次医療圏での救急、包括医療について全人的治療を目指します。診療内容が粗雑にならないよう最大限努力することを責務とすると同時に学術面での研鑽も重ね研究マインドを育む。

トピックス

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部管理課
担当医師　臨床研究部長　嶋村 則人
TEL　0172-32−4311
FAX　0172-33−8614
E-mail　106-Rinken2@mail.hosp.go.jp

八戸病院

病院長名	三尾　直士
住　　所	〒031-0003　青森県八戸市吹上3-13-1
電話番号	0178-45-6111
アクセス	八戸駅より南部バス八戸駅線「三日町」下車、三日町より市営バス是川団地行吹「栄町」下車

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
3										1							

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
													4

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
50	100						150

□ １日平均患者数　外来 3件　入院 141件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 0件　救急車 0件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 0件　全身麻酔 0件　ダビンチ 無
□ 社 会 保 険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 無　院内保育所 無　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　0名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　　直　臨床研修 2回 / 月平均　専門研修 2回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	566,800 円/月	649,000 円/月
2 年 次	578,800 円/月	669,300 円/月
3 年 次	−	−

研修概要

臨床研修

協力施設

□ 基幹病院名

東北大学病院、八戸市立市民病院、国立病院機構仙台医療センター、京都大学病院

□ 研修の領域

地域医療

□ 研修の特徴

・重症心身障害児(者)、神経難病等の高次機脳機能障害の診療を経験する。
・他の診療所における訪問診療に同行し、地域医療の役割を理解する。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△																		

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

病院PR

■診療の特徴　内科、リハビリテーション科（装具療法を含む）、神経内科、脳血管疾患後遺症や ALS や筋ジストロフィーの患者に対する治療、特に高次脳機能障害分野や内部障害分野の治療は東北大学院医学研究科と共同で行っています。また、プライマリーケアの実施と地域包括リハビリテーションの構築のため病診並びに病々連携を活発に行っています。併せて、重症心身障害児（者）の診療及び療養介護、短期入所等を行っており、地域に広く貢献しております。

研修担当

□ 診療部長　濱舘 貴徳

神経難病・脳血管疾患・発達障害を伴う肢体不自由と知的障害児（者）などの障害に対するリハビリテーション医学等に情熱を持つ皆様をお待ちしております。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　管理課　管理課長
担当医師　診療部長　濱舘 貴徳
TEL　0178-45-6111
FAX　0178-43-7814
E-mail　107-KANRI@ mail.hosp.go.jp

青森病院

病院長名	髙田　博仁
住　　所	〒038-1331　青森県青森市浪岡大字女鹿沢字平野155-1
電話番号	0172-62-4055
アクセス	浪岡駅で下車　徒歩15分

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1	1			5	1				1	6					1	2	

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他	歯科					計
								1					19

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
100	120	80	19				319

□ 1日平均患者数　外来 97件　入院 292件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 56件　救急車 25件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 14件　全身麻酔 13件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

病院PR

【信条】
当院は、「病める人には安らぎを、健やかなる人にはしあわせを」を信条としております。

【使命】
国立病院機構の政策医療と地域のニーズに応じた一般医療を行います。

【展望】
各種障害者（難病）のニーズに応える包括的医療と地域ニーズに応じた二次医療施設を目指します。当院は、神経筋疾患（成人・小児）、重症心身障害医療、結核医療、成育医療（小児精神疾患・腎疾患・膠原病・アレルギー疾患）の政策医療を行いながら、地域医療として各科による一般診療を行います。

研修体制

□ 指導医数　7名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　　直　臨床研修 0回 / 月平均　専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	−	541,500 円/月
2 年 次	−	559,600 円/月
3 年 次	−	−

研修担当

□ 副院長　今 清覚

重症心身障がい・成育医療（小児慢性疾患・思春期医療）・筋ジストロフィー及び神経難病・呼吸器疾患（結核を含む）の各分野において、患者様一人ひとりを中心とした高度な医療を行うべく、職員がチームワークよくリーダーと一体になって取り組んでいる病院です。皆様も、どうぞ我々と一緒に、人が人に行う医療を発展させていきませんか。

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
国立大学法人弘前大学医学部附属病院

□ 研修の領域
小児科、脳神経内科、内科

□ 研修の特徴
基幹型病院の研修プログラムに組み込まれた形で、当院の専門領域である重症心身障がい医療、筋ジストロフィー及び神経難病について研修できます。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△	△	△		△														

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

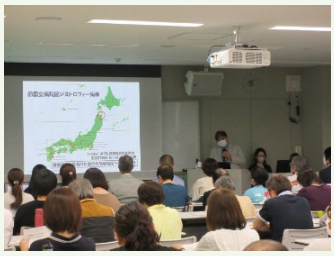
消内	循内	呼内	血液	内代謝	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
研修の特徴
重症心身障がい医療、筋ジストロフィー及び神経難病について、青森県のセンター的機能を有していることから、当該医療領域の全容を理解するために最適な研修ができます。

トピックス

教育研修活動や市民公開講座による地域への情報発信などにも積極的に取り組んでいます。



▲ 筋ジス市民公開講座

▼ 神経・筋勉強会

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課
担当医師　副院長　今 清覚
TEL　0172-62-7055
FAX　0172-62-7289
E-mail　108-kanrika@mail.hosp.go.jp

臨床研修 | 協力型 | 専門研修 | 連携

盛岡医療センター

病院長名	篠崎　毅
住　所	〒020-0133　岩手県盛岡市青山1-25-1
電話番号	019-647-2195
アクセス	① JR 盛岡駅から南青山線のバスに乗車、盛岡医療センター前で下車 ② IGR いわて銀河鉄道 青山駅より徒歩10分

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
2	3	0	3	2	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	1

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	小内					計
0	0	0	0	0	0	0	1					17

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
204	46		10				260

□ 1日平均患者数　外来 135件　入院 204件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 2,063件　救急車 1,148件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 391件　全身麻酔 350件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　13名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当直　臨床研修 0回 / 月平均　専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	−	550,500 円/月
2 年 次	−	568,600 円/月
3 年 次	−	586,500 円/月

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
岩手医科大学附属病院

□ 研修の領域
呼吸器内科、リウマチ科、整形外科、小児科、脳神経内科、循環器内科

□ 研修の特徴
地域医療研修として、各科の指導医・専門医のもと、幅広い診療科の研修を受けることができる。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△	△					△												

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
		△			△									

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
- 内科、呼吸器疾患、膠原病及び類縁疾患の診断と治療の基礎からより専門的医療まで研修することができる。
- 小児アレルギー、免疫疾患の診断と治療の基礎からより専門的医療まで研修することができる。
- 専門医療のみではなく、全人的医療を実践できる専門医をめざせるように教育に力をいれている。

病院PR

当院は、東北ブロックにおける呼吸器疾患、免疫異常疾患の基幹施設として位置づけられており、この二つの医療を行うと共に、地域のニーズに応じ一般診療を行っています。整形外科においては脊椎疾患をはじめ、骨・関節運動疾患の専門施設として診療及び臨床研究に積極的に取り組んでおります。また、令和２年度から盛岡圏域の重症心身障がい者に対応した療養介護施設の新設及び短期入所の実施、アレルギー・免疫疾患医療を中心とした小児専門医療及び盛岡医療圏の入院救急医療の実施を開始しています。

研修担当

□ 診療部長　大山 素彦

稼働病床数247床に対して常勤医が17名と少ないため多くの症例を経験できます。日本呼吸器学会認定施設、日本整形外科学会認定研修施設、日本神経学会准教育施設として、指導医、専門医が研修にあたります。看護師をはじめ、コメディカルスタッフとの定期的なカンファレンスもあり医師研修に協力的です。それらの協力体制により、クリティカルパスを駆使した他職種との連携を基盤としたチーム医療を推進しています。

トピックス

当院は、盛岡市の北西部に位置し、周辺は新興住宅街となっております。盛岡駅、盛岡インターチェンジまでも近く、交通の利便性の大変よい場所にあります。
岩手県から結核医療の拠点病院、アレルギー疾患医療拠点病院に認定されており、毎年研修会を開催し、地域の医療向上に努めるとともに、地域医療連携の一層の強化を図っています。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課　庶務班長
担当医師　診療部長　大山 素彦
TEL　019-647-2195
FAX　019-646-1195
E-mail　109-kanri@mail.hosp.go.jp

花巻病院

病院長名	本村　啓介
住　所	〒025-0033　岩手県花巻市諏訪500
電話番号	0198-24-0511
アクセス	① JR 東北本線花巻駅下車、岩手県交通バス北上線にて 約10分（2.9㎞） ② 瀬畑口で下車し徒歩10分（800m）

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
										1							

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
			3										4

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
	60			144			204

□ 1日平均患者数　外来 79件　入院 140件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 41件　救急車 14件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 0件　全身麻酔 0件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　2名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　臨床研修 0回 / 月平均　専門研修 4回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	653,100 円/月	736,000 円/月
2 年 次	653,100 円/月	736,000 円/月
3 年 次	−	736,000 円/月

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
・岩手県立中央病院
・北上済生会病院
・岩手医科大学

□ 研修の領域
精神科

□ 研修の特徴
【精神科】4週間の研修プログラムを用意しています。症例報告レポートの対象疾患である統合失調症、うつ病、認知症の患者の入院治療を中心として担当してもらいます。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
			△															

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
非常にバラエティーに富んだ症例を豊富に経験することが可能です。そのため、精神保健指定医並びに精神科専門医の資格取得に必要な症例が短期間で経験できます。

病院PR

○北海道東北グループ管内唯一の精神科専門病院です。
○経験豊富な指導医と精神科多職種チームが先生の研修を支えます。
○多様な症例と病態が豊富に経験できます。
○資格取得（精神保健指定医、精神科専門医等）に向けた必要症例を短期間で全て経験できます。
○精神科専門医療と地域精神科医療を両輪として取り組んでいます。
○専門領域は以下のとおりです。
精神科急性期医療、治療抵抗性医療（クロザピン、m-ECT：修正型電気痙攣療法）、医療観察法医療（司法精神）、認知症医療、アルコール依存症医療、児童思春期医療、重症心身障害児（者）医療、被災地こころのケア、精神科リハビリテーション、包括的地域精神科医療

研修担当

□ 院長　本村 啓介

当院は、精神科急性期病棟、精神科慢性期病棟、医療観察法病棟、重症心身障害病棟を有しており、訪問看護やデイケア等のアウトリーチ活動やリハビリテーションも熱心に行っております。クロザピン等の先進的な薬物療法にも積極的に取り組んでおり、被災地こころのケア活動も行っているため、非常に多彩な症例、病態を経験することができます。また、院内でのテレビ会議システムを利用した学習会や研究・研修活動を通してスキルアップを図ることができ、外部主催の学会や研修会への参加も病院としてバックアップしていき、精神鑑定等、司法精神医療についても豊富な例で専門研修を受けられます。

トピックス

○当院は岩手県花巻市の南部に位置しています。農地、雑木林に囲まれた閑静な地域にあり、療養に最適な環境です。岩手県中央のやや南部に位置して交通の便も良く、診療圏は県全域に及んでおります。精神科に興味のある方は是非一度ご連絡下さい。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課　庶務係長
担当医師　院長　本村 啓介
TEL　0198-24-0511
FAX　0198-24-1721
E-mail　110-shomu@mail.hosp.go.jp

岩手病院

病院長名	齋藤　桂一
住　　所	〒021-0056　岩手県一関市山目字泥田山下48
電話番号	0191-25-2221
アクセス	東北本線「一関駅（西口）」で下車後、バスにて「岩手病院前」で下車

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
3	0	0	0	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他					計
0	0	0	0	0	0	0	1					11

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
100	150						250

□ 1日平均患者数　外来 38件　入院 235件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 143件　救急車 75件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 12件　全身麻酔 0件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　6名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　臨床研修 0回 / 月平均　専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	300,000 円/月	560,000 円/月
2 年 次	300,000 円/月	560,000 円/月
3 年 次	−	560,000 円/月

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
岩手医科大学、東北大学、栗原市立栗原中央病院、岩手県立磐井病院、岩手県立胆沢病院

□ 研修の領域
神経内科、地域医療、リハビリテーション

□ 研修の特徴
神経内科一般、神経難病に関わる治療、リハビリテーション一般、重症心身障害児者に関わる患者家族を含む全人的な医療、地域医療連携パス及び開放型病床を含む地域医療連携の実践等（複数科から選択）。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△																	△	

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
神経難病や重症心身障害の研修も可能です。
集学的チーム医療や地域医療連携を通して、広い視野を持つ医師に育ってほしいと思います。

病院PR

当院の担う政策医療は、次の３分野です。

1．神経・筋疾患（特に神経難病）
この分野の専門医療施設として岩手県の中心的期間を目指します。

2．重症心身障害
専門医療施設として全国のＮＨＯ病院とネットワークを組みながら医療を推進します。

3．エイズ
拠点病院として東北地区の基幹病院の仙台医療センターと連携して診療にあたります。

その他
地域の需要が高い以下の疾病についても取り組み、地域医療に貢献しています。
（回復期リハビリテーション、低肺機能性疾患、気管支喘息、リウマチ等）

研修担当

□ 副院長　山田 康雄

神経内科医専門医を目指す医師、神経筋難病医療に関心のある医師、またはリハビリテーション専門医を目指す医師は、是非、当院の専門研修にご応募ください。
世界遺産の平泉が近くにあり、静かな環境ですが、一関市の市街地にも近く、交通の便も良好です。

トピックス

□ 指導医（リハビリテーション科）名誉院長　佐藤 智彦

リハビリ部門では県南唯一のリハビリ医養成教育施設として神経疾患ばかりでなく、呼吸器・消化器外科・小児疾患の病例も勉強できます。二次救急も取り扱っておりますので、急性期から慢性期まで幅広い知識を得ることができます。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　庶務班長　名生
担当医師　副院長　山田 康雄
ＴＥＬ　0191-25-2221
ＦＡＸ　0191-25-2157
E-mail　111-kanri@mail.hosp.go.jp

釜石病院

病院長名	笹生　昌之
住　　所	〒026-0053　岩手県釜石市定内町4-7-1
電話番号	0193-23-7111
アクセス	JR 釜石線　小佐野駅下車　徒歩約20分

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1				2						1							

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
	2												6

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
100	80						180

□ 1日平均患者数　外来 10件　入院 167件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 98件　救急車 0件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 0件　全身麻酔 0件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 無　院内保育所 無　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　3名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　臨床研修 0回 / 月平均　専門研修 2回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	−	350,000 円/月
2 年 次	−	350,000 円/月
3 年 次	−	350,000 円/月

研修概要

臨床研修

協力施設

□ 基幹病院名
・岩手医科大学、東北大学
・岩手県立大船渡病院
・岩手県立釜石病院

□ 研修の領域
内科、脳神経外科、脳神経内科、リハビリ科、重症心身障害児（者）医療

□ 研修の特徴
重症の脳卒中患者さんの診療や治療、重症心身障害児（者）の医療や療育に触れることは、あなたのこれからの医師生活に良い影響を与えることは間違いないと思います。脳神経外科の指導医は専門医ですし、熱心に指導しますので、研修に来た甲斐があることを請け負います。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
釜石病院は、岩手県初認定となる地域医療連携推進法人（釜石スクラム・メディカル・ネット）に参加しているので、新しい医療の取り組みを体験することができます。また、ラグビーW杯の会場でもあった鵜住居復興スタジアムでは、地元の日本製鉄釜石シーウェイブスの試合観戦や応援をすることができ、三陸の大自然に加えて、様々な体験をすることができます。

病院PR

当院の入院では、重症心身障害児（者）医療、脊髄損傷、神経難病、重症脳卒中後遺症、頭部外傷後遺症などの慢性期を主体とした医療を提供しています。外来では、小児神経（てんかん外来）、頭痛外来などの専門外来を行っています。

入院治療では、肺理学療法を中心とした維持期のリハビリ、慢性期型NSTなどに取り組んでおり、基本技術の習得や全身管理の習熟が可能です。また、急患等も少ないので、論文作成や各種研修、地域に出ての在宅医療や地域医療に関する研修も可能です。

釜石医療圏は、東日本大震災で大きな被害を受けましたが、震災前から医師不足が深刻でしたので、医療支援や地域の活性化という目的で来ていただければ大歓迎です。

■専門医資格関連情報（2026年1月1日現在）
岩手医科大学臨床研修プログラム　協力型臨床研修病院（施設番号：031187）
岩手県立大船渡病院臨床研修プログラム　協力型臨床研修病院（同上）

研修担当

□ 院長　笹生 昌之

当院では、患者の疾患のみならず精神面、社会的背景にも配慮した幅広い診療のできる臨床医の育成を目指し、スタッフ一同誠意をこめて創造的な指導を行っています。

人間性豊かで、積極性・協調性のある柔軟な頭脳の持ち主の応募を期待しています。また、臨床研究も積極的におこなっており、メディカルサイエンスを学ぶことができます。

また、毎年、医学生（1、3、5年生）の地域医療実習も受け入れており、地域の県立病院とも臨床研修の協力病院になっています。

（岩手医科大学脳神経外科臨床教授）

お申込み・お問い合せ

照会窓口　庶務班長　雫石 哲也
担当医師　院長　笹生 昌之
TEL　0193-23-7111
FAX　0193-25-1820
E-mail　112-kanrika@mail.hosp.go.jp

仙台医療センター

病院長名	江面　正幸
住　　所	〒983-8520　宮城県仙台市宮城野区宮城野2-11-12
電話番号	022-293-1111
アクセス	JR 仙石線　宮城野原駅隣接

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

総診	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	小外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
2	7	7	5	3	9	3	1	3	4	8	9	5	4	2	4	6	9

泌	形外	乳外	精神	救急	病理	感内	腎内	緩和ケア	内代	血内	腫内	歯	計
3	4	1	3	7	3	3	2	4	5	5	3	2	136

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
628				32			660

□ 1日平均患者数　外来 977件　入院 521件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 9,905件　救急車 5,634件　ドクターヘリ 144件
□ 年間手術件数　総数 4,998件　全身麻酔 3,792件　ダビンチ 有
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　86名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　6回（剖検数 15件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当直　臨床研修 4回 / 月平均　専門研修 4回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	328,340 円/月	455,210 円/月
2 年 次	336,560 円/月	473,030 円/月
3 年 次	−	490,850 円/月

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴
・プライマリーケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を有する。
・幅広い視野、豊かな人間性、そして思いやりのこころを持つ。
・全ての医療者と円滑なチームワークを実施できる。

□ 研修終了後の進路　当院、大学病院
□ 研修医の出身大学　東北大学、山形大学、秋田大学、岩手医科大学、山梨大学、自治医科大学
□ 募集人数　24名
□ 試験日程　別途連絡
□ 選考方法　面接、小論文

CHECK!

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
○	△	△	○	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△		○

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
		○												

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病
○								

□ その他特記事項
臨床研修医、専攻医見学随時募集中！！！

CHECK!

病院PR

当院は、病床660床、全32診療科を有し、看護助産学校やウイルスセンターを併設し、診療のみならず、教育、研究の面のおいても東北を代表する基幹病院です。また、国の政策医療である、がん、循環器疾患、成育医療の基幹病院、さらに東北ブロック災害拠点病院、東北ブロックエイズ拠点病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院でもあります。救命救急センターの指定を受けて救急車の搬入は年間約5,000件、一次救急から多発外傷を中心とした高次医療まで、全ての疾患、病態に病院をあげて対応しております。2016年10月からは宮城県の救急医療の拠点としてドクターヘリの稼働を開始し、本県救急医療の中心を担っています。

臨床研修医の声

□ 研修医　石河 諒太郎

仙台医療センターは仙台市の中核病院であり幅広い症例が学べます。指導医との距離が近く、研修医が主体的に診療に携わりつつも適格なフィードバックがもらえる充実した環境で研鑽を重ねることができます。
同期もやる気のある優秀な人材が全国から集まり、医師として成長するのに最適な環境です。ぜひ一緒に成長しましょう！

研修担当より

□ 臨床研修部長　鈴木 靖士

当院の特徴は総合力と高度・先端医療です。当院は150万人の仙台医療圏の中核的な病院であり、ドクターヘリの基地病院として、高度な救急医療も提供しています。臨床研修部では、常に理想できな研修を目指し、そのために様々なプログラムを企画、運営してきました。研修医は様々な症例を通じて、多くの経験を積みながら日々成長していきます。臨床研修の水準こそが、医師としてのキャリアのスタンダードとなるはずです。

トピックス

当院の研修制度では野球観戦イベント、ボーリング大会、ゴルフコンペ‥などのたくさんのイベントもあります。当院で最高の仲間、指導医と共に臨床研修、その後の専攻医生活を送れることは医師人生をスタートするにあたり何ものにも代え難い経験になることは間違いありません。
研修のこと、病院のこと、気になることがありましたら、お気軽に電話やメールでお問い合わせください。お待ちしております。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部管理課　厚生係長
担当医師　臨床研修部長　鈴木 靖士
TEL　022-293-1111
FAX　022-291-8114
E-mail　113-rinken@mail.hosp.go.jp

仙台西多賀病院

病院長名	武田　篤
住　　所	〒982-8555　宮城県仙台市太白区鈎取本町2-11-11
電話番号	022-245-2111
アクセス	宮城交通・山田自由ケ丘行乗車「仙台西多賀病院前」下車　徒歩5分

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
2	0	0	0	10	0	0	0	0	1	2	0	8	0	0	0	0	2

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他					計
0	0	0	0	0	0	0	0					25

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
200	80	160					440

□ 1日平均患者数　外来 124件　入院 358件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 66件　救急車 55件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 791件　全身麻酔 724件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 無　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　11名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　臨床研修 0回 / 月平均　専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	−	400,000 円/月
2 年 次	−	400,000 円/月
3 年 次	−	−

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
・東北大学病院
・国立病院機構仙台医療センター
・仙台市立病院

□ 研修の領域
地域医療

□ 研修の特徴
内科では脳神経内科の神経筋疾患を中心に学ぶことできる。
整形外科では脊椎外科中心に多くの症例を経験し優れた専門診療を複数の指導医から学ぶことができる。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△						△												

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
					○									

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

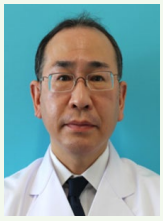
病院PR

当院は仙台市郊外南西部にあり、市中心部に近接しているにもかかわらず緑多い環境にあります。脳神経内科、整形外科など専門性の高い病院として基幹病院である東北大学病院、国立病院機構仙台医療センター他、近隣の医療機関と相互協力関係にあります。また当院に隣接する特別支援学校と連携し成長期の筋ジストロフィー患者や重症心身障害児（者）の長期療養施設となっています。脳神経内科は160床の専門病棟を有する筋ジストロフィーの他、パーキンソン病、ALS 等代表的な神経疾患の診療にあたっています。また整形外科では年間手術件数600件を超す脊椎部門並びに股関節脱臼、膝関節症の診療にあたる関節部門が診療にあたっています。臨床研究部は各専門診療を踏まえた研究や治験など臨床研究を推進しています。

■専門医資格関連情報（2026年1月1日現在）
日本神経学会認定施設、日本整形外科学会認定施設、日本リウマチ学会認定施設、日本麻酔科学会認定施設

研修担当

□ 臨床研究部長　長谷川 隆文



当院には脳神経内科、整形外科分野の専門診療を経験出来る充実した研修プログラムがあります。脳神経内科ではパーキンソン病関連疾患、認知症ならびに筋ジストロフィー症の専門診療・療養を実践しています。なかでもパーキンソン病の外来患者数は1100名越と国内有数の患者数を有し、機能画像や体液バイオマーカーなどに着目した臨床研究、医師主導治験や臨床試験も精力的に行っています。整形外科では脊椎手術件数は毎年600件を越え、県内外の多くの患者さんの治療に当たっています。内視鏡下手術など低侵襲の治療を積極的に取り入れ、国内外から多数の医師が研修や手術見学に訪れています。

トピックス

平成28年認知症疾患医療センター開設、完全予約制で初診当日に鑑別診断並びに今後の治療方針の説明を実施。同年、HAL（ロボットスーツ医療用下肢タイプ）を東北初導入。翌年、東北初の最新SPECT-CT 装置を導入、核医学検査を開始。平成30年脊椎内視鏡センターを開設。東北では普及が遅れている脊椎内視鏡手術の提供、脊椎内視鏡外科医やスタッフの育成、新しい低侵襲手術や治療法の開発を進めています。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課
担当医師　臨床研究部長　長谷川 隆文
TEL　022-245-2111
FAX　022-243-2530
E-mail　114-shomuhancho@mail.hosp.go.jp

宮城病院

病院長名	安藤　肇史
住　　所	〒989-2202　宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100
電話番号	0223-37-1131
アクセス	JR 常磐線　山下駅より町民バス（ぐるりん号）で10分

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
3	1			4					2	1							

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他					計
							2					13

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
170	120						290

□ １日平均患者数　外来 97件　入院 246件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 555件　救急車 273件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 108件　全身麻酔 53件　ダビンチ 無
□ 社 会 保 険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　3名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　　直　臨床研修 －　専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	－	610,000 円/月
2 年 次	－	630,000 円/月
3 年 次	－	650,000 円/月

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
・東北大学病院
・国立病院機構仙台医療センター
・東北医科薬科大学病院

□ 研修の領域
内科、脳神経内科

□ 研修の特徴
脳卒中を含む神経疾患の急性期から慢性期に至る診断や治療、小児科で発達障害、重症心身障害児（者）医療が主体となっています。また、地域の医師会と連携し、地域包括ケア病棟を活用しての地域医療に取り組んでいます。在宅療養支援にも力を入れています。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△																		

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
					△									

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
神経難病・高齢者医療・重症心身障害児（者）医療を中心に研修します。
認知症の外来診療も研修可能です。

病院ＰＲ

神経難病の方々が長期入院可能な障害者病棟があるので初期診断から終末期まで診療可能です。パーキンソン病では、脳神経外科で機能的手術（脳深部刺激療法、集束超音波療法等）を行っています。2020年夏からは東北初の集束超音波治療センターが稼働し、東北各地から患者さんが紹介されています。また、脳卒中については、急性期治療からリハビリテーションまでの一貫した治療がなされており、他方、内科系各科は近隣医療機関と連携し、地域医療、高齢者医療に尽力し、宮城県沿岸南部、福島県沿岸北部における地域医療・中核病院の機能を担っています。特に2020年４月からは訪問看護ステーション・地域包括支援センターを設置し、地域医療に積極的に貢献しています。脳神経内科・脳神経外科・内科・形成外科で重症心身障害者病棟を担当しています。

研修担当

□ 脳神経内科部長　松本 有史

当院は神経疾患の急性期のみならず、慢性期の医療を十分に研修できることが特徴です。最終的に急性期中心の市中総合病院に勤務することを希望している医師にとっても、疾患の全体像を理解するという意味で、当院での研修は貴重な経験になると思います。重症心身障害児（者）医療に関心がある方も歓迎いたします。

トピックス

気候は温暖で、リハビリテーションや中期・長期療養に適した環境です。国道6号線に面しており、常磐自動車道山元インターチェンジからも10分という距離にあります。病院付近にある飲食店では、秋には「鮭のはらこ飯」、冬から春にかけては「ほっき飯」、初夏の「あなご丼」など海浜地区ならではの郷土料理が楽しめます。また、イチゴなどの特産品も有名で、季節には多くの観光客がいちご狩りを楽しんでいます。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部管理課給与係長　鈴木 元
担当医師　脳神経内科部長　松本 有史
ＴＥＬ　0223-37-1131
ＦＡＸ　0223-37-3316
E-mail　115-kanri@mail.hosp.go.jp

臨床研修	ー	専門研修	連携

あきた病院

病院長名	奈良　正之
住　　所	〒018-1393　秋田県由利本荘市岩城内道川字井戸ノ沢84-40
電話番号	0184-73-2002
アクセス	JR秋田駅から電車で約20分(最寄り駅から徒歩５分)、車では約30分。秋田空港からは車で約20分。

病院概要

☐ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他					計
0	0	0	0	0	0	0	1					9

☐ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
94	160	80					334

☐ １日平均患者数　外来 39件　入院 327件　（2024年度実績）
☐ 年間救急受入数　患者数 12件　救急車 6件　ドクターヘリ 0件
☐ 年間手術件数　総数 0件　全身麻酔 0件　ダビンチ 無
☐ 社 会 保 険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
☐ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 無　病児保育室 無

研修体制

☐ 指導医数　4名　2026年1月1日現在
☐ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　3回（剖検数 1件）　（2024年度）
☐ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
☐ 当　　直　臨床研修 1回 / 月平均　専門研修 1回 / 月平均
☐ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	500,000 円/月	550,000 円/月
2 年 次	530,000 円/月	ー
3 年 次	ー	ー

研修概要

専門研修

☐ 基本領域　（〇基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△																		

☐ サブスペシャルティ領域　（〇教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
					△									

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

☐ その他特記事項
神経・筋難病、筋ジストロフィーを中心とした慢性神経・筋疾患の研修希望者に適している。

トピックス

あきた病院は、秋田市と由利本荘市の中間に位置し、日本海に面した丘陵地にあります。
眼下には、日本初のペンシルロケットが発射されたことで有名な道川海岸があり、冬には秋田名物であるハタハタが海岸線までやってきます。
病院からは日本海に沈む夕陽を臨めることが出来ます。
病院へのアクセス：JR 秋田駅から電車で約20分（最寄り駅から徒歩５分）、車では約30分。秋田空港からは車で約20分。

病院ＰＲ

あきた病院の理念
「心のこもった、癒やしの医療」

あきた病院の基本方針
1．患者さんの権利を尊重し、安心できる医療を提供します。
2．快適で満足できる医療環境を提供します。
3．政策医療を担いかつ地域医療に貢献します。
4．研究・研修を推進し、専門性のある医療の向上に努めます。
5．生きがいのある職場作りを目指します。

重症心身障害児（者）病床160床、筋ジストロフィー病棟80床、神経難病を主として入院している一般病床94床があり、人工呼吸器を装着している患者は73人おります。
当院では、CT、MRI、SPECT を保有し、秋田県難病医療等ネットワーク事業に係る分野別拠点病院の指定も受けております。

■専門医資格関連情報（2026年１月１日現在）
日本神経学会専門医制度教育室

研修担当

☐ 副院長　和田 千鶴

秋田大学医学部附属病院、本荘第一病院及び秋田赤十字病院との連携の下、神経・筋難病に取り組んでおります。難病に限らず、頭痛、めまいなどの common disease から、教科書でしか見たことのない希少疾患まで多岐にわたり経験することができ、人工呼吸器も常時70台以上稼働しているので、疾患毎の呼吸管理も勉強することが出来ます。また、育児や介護と仕事が両立できるような働きやすい環境も目指していますので、ぜひ当院での研修もお考えください。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課
担当医師　副院長　和田 千鶴
TEL　0184-73-2002
FAX　0184-73-2370
E-mail　116-akitaHP.sy@mail.hosp.go.jp

山形病院

病院長名	宇留野　勝久
住　　所	〒990-0876　山形県山形市行才126-2
電話番号	023-684-5566
アクセス	山形駅から車で10分

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1	2		1	7					1								1

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
													13

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
198	102						300

□ 1日平均患者数　外来 51件　入院 281件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 79件　救急車 51件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 1件　全身麻酔 0件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 無　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　11名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　臨床研修 －　専門研修 －
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	－	－
2 年 次	－	－
3 年 次	－	－

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
山形大学医学部附属病院

□ 研修の領域
脳神経内科、呼吸器内科

□ 研修の特徴
・山形大学医学部の臨床研修プログラムの研修協力病院です。
・臨床研修の内科系選択科目や希望科目を担当することになります。
・病診連携による回復期慢性期診療の研修ができます。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
		△			△									

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
・神経筋疾患全般を総合的に研修ができます。
・てんかんセンターを併設しており、てんかん診療の研修も可能です。
・肺結核を初めとする難治性呼吸疾患に取り組んでおり、診断手技と治療手技を取得できます。

病院PR

1．神経・筋疾患の医療（てんかんを含む）：神経難病医療：山形県の拠点病院として、専門医による包括的医療、難病相談や難病研修、そして在宅医療支援をしております。てんかん医療：専門病棟にて、難治性てんかんにも取り組んでおります。

2．結核および呼吸器疾患医療：山形県の呼吸器難治性疾患の最終拠点病院の役割を果たしております。

3．重症心身障害と小児慢性疾患の医療：隣接の山形県立山形養護学校と連携し、医療と教育に取り組んでおります。

4．リハビリテーション：脳卒中、神経難病、呼吸器疾患等に取り組んでおります。

5．附属看護学校：看護師養成に力を尽くしております。

研修担当

□ 教育研修部長　黒川 克朗

脳神経難病の拠点病院として筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病等の患者さんが多数通院、入院しており、診療は当然ながら在宅も含め他医療機関との連携、看護・介護施設との連携など、地域医療連携室（看護師、ソーシャルワーカー）を介しての包括的医療を実践しています。また、全国でも数少ないてんかんセンターがあり、長時間ビデオ脳波モニタリングによる発作型診断や治験を含めた新規抗てんかん薬による薬物治療など専門的な医療を行っています。神経難病もてんかんも、疾患であると同時に障害でもあり、患者さんの QOL を高めるために医療福祉両面からサポートする必要ががあり当院はその機能を果たしています。

トピックス

当院は県内唯一の神経難病医療の拠点病院です。そのため、筋萎縮性側索硬化症や脊髄小脳変性症、パーキンソン病等神経難病の患者さんが多数入院・通院され、これらの疾患に関し豊富な症例を経験できます。更に県内の難病医療の中心として他医療機関や看護・介護施設とのネットワークを整備しています。これら多施設との協力態勢のもと、神経難病患者さんへ包括的なケアを提供することが当院の責務と考えています。従って、当院での研修によって診断や治療という医学的側面だけではなく、社会的・福祉的な面からも患者さんを診る目が養われるものと確信しています。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課
担当医師　教育研修部長　黒川 克朗
TEL　023-684-5566
FAX　023-684-2519
E-mail　117-yamagata-kanri@mail.hosp.go.jp

米沢病院

病院長名	髙橋　利幸
住　　所	〒992-1202　山形県米沢市大字三沢26100-1
電話番号	0238-22-3210
アクセス	米沢駅より市民バス 循環線周り「病院前」で下車30分、タクシーで10分

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
				3												1	

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
													4

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
100	120						220

□ 1日平均患者数　外来 19件　入院 187件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 0件　救急車 0件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 10件　全身麻酔 0件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 無　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　2名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　臨床研修 0回 / 月平均　専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	−	540,000 円/月
2 年 次	−	550,000 円/月
3 年 次	−	−

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
- 米沢市立病院
- 山形大学医学部附属病院
- 国立病院機構仙台医療センター

□ 研修の領域
脳神経内科領域、地域医療

□ 研修の特徴
- 臨床神経学、神経学的診療法のトレーニングプログラムを設置
- 日本神経学会専門医の指導の下、複数名の患者の主治医として病棟勤務に従事できる
- 脳神経内科医として基本的事項の習得や放射線専門医の指導も随時受講可能

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代謝	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
					△									

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
- 日本神経学会認定神経内科専門医の取得を目標に、脳神経内科のみならず関連領域の研修を実施している
- 脳神経内科プログラム（前期基礎、後期基礎、専門）を各1年ずつ研修し3年間で終了とする
- 社会人大学院制度の利用や研究日の設定が可能である

病院PR

山形県南（置賜地域）における中枢神経疾患診療の基幹施設に位置づけられる当院は、脳卒中重度後遺症、重度心身障がい、神経難病医療において中心的役割を果たしています。また、令和2年10月1日に米沢神経難病センターを開棟し、医療の提供体制の充実を図るとともに、特にALS（筋萎縮性側索硬化症）に関しては訪問診療・レスパイト・長期入院療養と様々な要望に応じた診療を実践、3TMRI を有し脳ドックを実施しています。さらに「地域完結型脳卒中クリティカルパス」「認知症予防事業」にて一翼を担い地域医療に貢献しています。
山形大学・東北大学・国立病院機構仙台医療センター等での院外研修制度活用により、2006年以降、医学博士学位取得者2名、日本放射線学会専門医1名、日本内科学会認定内科医1名、日本神経学会指導医４名、日本神経学会専門医２名、総合内科専門医1名が誕生しています。また、女性医師専用医局を完備しておりフレキシブルな勤務形態を用意できますので、気軽にお問い合わせください。

■専門医資格関連情報 (2026年1月1日現在)
日本神経学会認定専門医制度准教育施設

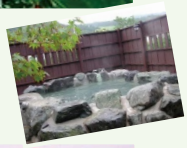
研修担当

□ 院長　髙橋 利幸

Ⅰ．研修基幹病院と連携し当院の特徴を生かした研修プログラムとなっています。脳神経内科病棟では稀少疾患を経験でき、指導医の親切丁寧な指導体制には定評があります。

Ⅱ．神経変性疾患を中心に、難病・認知症・重度意識障害を持つ患者様の長期療養例の経験を積むことが可能です。

トピックス



山形県は「食と温泉の王国」としても有名です。米沢牛やさくらんぼ、ラ・フランス。蕎麦やラーメン、地酒も美味しいです。米沢八湯など温泉にも恵まれ、市内にシネマコンプレックスがあるなどエンターテインメントも充実しています。

当院は近隣の幼稚園や中学校との交流のイベントも実施しています。院内に展示している旧米沢市立第五中学校・生徒会制作のモザイクアート「上杉謙信公」「直江兼続公」は必見です。「愛」と「義」の街、米沢の魅力を堪能しながら、有意義な研修生活をお送りいただけますよう全力でサポートいたします。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課　庶務班長
担当医師　院長　髙橋 利幸
TEL　0238-22-3210　内線206
FAX　0238-22-6691
E-mail　118-shomu1@mail.hosp.go.jp

福島病院

病院長名	杉浦　嘉泰
住　　所	〒962-8507　福島県須賀川市芦田塚13
電話番号	0248-75-2131
アクセス	JR 東北本線須賀川駅下車 循環バス（南上野団地方面）福島病院バス停下車

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
		1		2						3							

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
													6

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
50	170						220

□ 1日平均患者数　外来 20件　入院 189件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 1件　救急車 1件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 0件　全身麻酔 0件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　4名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　臨床研修 0回 / 月平均　専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	320,960 円/月	444,880 円/月
2 年 次	329,000 円/月	462,300 円/月
3 年 次	−	479,720 円/月

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
公立岩瀬病院、仙台医療センター、福島県立医科大学

□ 研修の領域
地域医療（小児科）

□ 研修の特徴
post NICU, post PICU として乳幼児の治療・全身管理を小児科専門医のもとで研修できます。
小児神経疾患について、小児神経専門医・てんかん専門医の指導のもと研修できます。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
	△																	

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
					○									

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
- 乳幼児の重症心身障害児の全身管理を学べます。
- 小児神経疾患から高齢者の神経変性疾患まで幅広い年齢層の神経疾患を学べます。
- 指導医は学会認定専門医・指導医

病院PR

○重症心身障害児（者）医療
・ポスト NICU、ポスト PICU としての役割を担い、幼児期からの入院や超重症児（者）の入院にも対応している。また、レスパイト入院も行うことで、在宅医療の支援を積極的に推し進めている。

○脳神経内科
・日本神経学会認定指導医2名で神経筋疾患の初期診断から、リハビリテーションや慢性期治療まで行っている。MRI や末梢神経超音波検査などの神経画像検査に加え、筋電図や誘発電位検査、経頭蓋磁気刺激検査などの電気生理検査を駆使して、専門的に脳神経内科診療に取り組んでおり、日本神経学会教育施設に認定されている。

研修担当

□ 院長 杉浦 嘉泰　副院長 石井 勉

福島病院は旧国立郡山病院と国立療養所福島病院が平成16年に合併し設立した療養型の病院です。国の政策医療である重症心身障害医療・神経難病医療における福島県の医療ニーズの大半をカバーし、レスパイト入院など、在宅医療介護の支援を積極的に推し進めています。この医療形態は本院での特色であり、充実した研修を行えるものと考えております。

院　長
杉浦 嘉泰

副院長
石井 勉

トピックス

重症心身障害児（者）病棟では、県内の新生児集中治療室（NICU）や小児集中治療室（PICU）で救命されたものの重度の障害が残ってしまった子どもたちを積極的に受け入れており、小児の全身管理を学ぶことができます。また、てんかんや小児神経疾患の患者さんも多数入院しており、神経難病病棟では希少な神経変性疾患や、視神経脊髄炎や CIDP などの免疫性神経疾患の患者さんが入院されており、小児から高齢者まで広く神経疾患症例について学ぶことができます。

福島病院近隣の四季折々の彩り

○ 須賀川牡丹園（4月～5月中旬）

○ 釈迦堂川花火大会（8月下旬）

○ 松明あかし（11月中旬）

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課
担当医師　院長 杉浦 嘉泰(脳神経内科)　副院長 石井 勉(小児科)
TEL　0248-75-2131
FAX　0248-76-2382
E-mail　119-kanri@mail.hosp.go.jp

Iwaki National Hospital いわき病院

病院長名	石井　亜紀子
住　　所	〒971-8126　福島県いわき市小名浜野田字八合88-1
電話番号	0246-88-7101
アクセス	JR 湯本駅から小名浜行き新常磐交通バス約15分「いわき病院前」下車

病院概要

□ 診療科・医師数　2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
2				2	1												

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
													5

□ 病床数（医療法病床数）　2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
70	84						154

□ 1日平均患者数　外来 29件　入院 132件　（2024年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 0件　救急車 0件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 0件　全身麻酔 0件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 無　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　4名　2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件））　（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　臨床研修 0回 / 月平均　専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	545,000 円/月	585,000 円/月
2 年 次	566,000 円/月	606,000 円/月
3 年 次	−	−

研修概要

臨床研修

協力施設

□ 基幹病院名
- 国立病院機構仙台医療センター
- 国立病院機水戸医療センター
- いわき市医療センター

□ 研修の領域
脳神経内科、地域医療

□ 研修の特徴
- 五感を駆使した神経学的診察法
- 高次脳機能検査、CT・MRI・核医学的検査の読影、神経超音波検査、神経病理学的検査
- 脳波・神経伝達検査・各種誘発電位検査などの電気生理学的検査

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△																		

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
	△				△									

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

病院PR

当院は国の政策医療である神経難病・重症心身障害児（者）医療を主体とし、福島県から茨城県の太平洋沿岸地域、首都圏の患者様を受け入れ、少しでも安寧と希望を持って生きていかれるように援助させていただいております。また、地域における循環器疾患、生活習慣病等の一般医療に対しても積極的に取り組んでおります。具体的には
① ＡＬＳ（筋萎縮性側索硬化症）などの神経難病に対する医療
② 脳卒中、てんかん、頭痛などの一般的神経内科的疾患の診断と治療
③ 重症心身障害児（者）に対する医療、療育
④ 各種神経疾患に対するリハビリテーションの他に重症心身障害児（者）に対する摂食・嚥下機能訓練
⑤ 循環器専門医による心・循環動態の評価、および心・循環器疾患予防活動の推進

■ 専門医資格関連情報（2026年1月1日現在）
日本神経学会認定教育施設、神経内科専門医

研修担当

□ 診療特別顧問　鈴木 栄

当院は平成31年2月にいわき市内陸部に移転いたしました。新病院では最新のMRIと3DCTなどの画像診断機器も導入いたしました。これに従来からの高品質の神経生理学検査能力を合わせ、あらゆる神経疾患の診断・治療が可能となります。どうか若き研修医の皆様の情熱とアイデアを、新たな出発を迎える当院に傾注していただければ幸いに存じます。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　庶務班長　森川 直彦
担当医師　診療特別顧問　鈴木 栄
TEL　0246-88-7101
FAX　0246-88-7075
E-mail　120-iwaki-jinji@mail.hosp.go.jp